
e news SEaweEDS No.29

日本海藻協会ニュース

2010年8月15日

I. 協会事務局から

1. 酷暑お見舞い申し上げます

会員の皆様、酷暑にめげずご清祥のことと思います。どうぞ健康に留意されて猛暑を乗り切ってください。ご活躍を期待しています。

2. 2010年度総会

日本海藻協会 **2010年度総会**を **10月8日(金) 13:15-13:45** に **学士会館** (東京・神田) で開催します。正会員はご出席をお願いします。

II. 海藻関連ニュース

1. ちばの里山里海サブグローバル評価シンポジウム

千葉県自然保護課生物多様性センター・千葉県立中央博物館・千葉県環境研究センター主催の平成22年度ちばの里山里海サブグローバル評価シンポジウム「里海一人と自然がつむぎだす豊饒の海」が **8月21日(土) 10:00~16:15** に千葉県立中央博物館 (千葉・中央区 青葉の森公園内) で開催されます。参加費無料。詳細は <http://www.bdcchiba.jp/> をご覧ください。

2. 2010 秋季藻類シンポジウム

本協会主催の **2010 秋季藻類シンポジウム「藻類ヘルスフードの科学と普及」** (仮題) が **10月8日 14:00-17:00** に **学士会館** (東京・神田) で開催されます。

3. 千葉県立中央博物館の企画展 (本協会後援)

「海藻、35億年の旅人」と題した千葉県立中央博物館企画展が9月5日まで同館 (千葉市中央区青葉町 青葉の森公園内) を中心に開催されています。詳細はウェブサイト www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/ をご覧ください。

4. 第9回国際海洋バイオテクノロジー会議

国際海洋バイオテクノロジー学会 (International Marine Biotechnology Association, IMBA) 主催の**第9回国際海洋バイオテクノロジー会議 (The 9th International Marine Biotechnology Conference, IMBC 2010)** が10月8-12日に中国の青島で開催されます。詳細はウェブサイト www.imbc2010.org をご覧ください。

5. 第3回藻類の世界アジア 2010

アジア太平洋地域のマーケット繁栄を目指す**第3回藻類の世界アジア 2010 (The 3rd Algae World Asia 2010)** が10月19・20日にシンガポールの Goodwood Park Hotel Singapore で開催されます。学術研究者、産業関係者、投資関係者などが参加する集会で、主要分科会として「藻類生産システムのブレークスルーと進展」「藻類生産力と藻類加工効率を高めるためのテクノロジー」「高価値副産物の開発」「炭素吸収と排水処理のための藻類利用」「藻類バイオ燃料の商業化戦略と進展」などが予定されています。詳細はウェブサイト [3rd Algae World](http://3rdAlgaeWorld.com) をご覧ください。

6. 第4回国際応用藻類学会議 (ISAP-2011)

国際応用藻類学会 (International Society for Applied Phycology, ISAP) 主催の**第4回国際応用藻類学会議 (The 4th Congress of the International Society for Applied Phycology, ISAP-2011)** がカナダのハリファックス (Halifax) で2011年6月19-24日に開催されます。カナダの National Research Council (Institute for Marine Biosciences) が世話を担当し、会場は Halifax Marriott Harbourfront Hotel が予定されています。藻類の増養殖、利用、企業化などに関する専門家の世界各地からの参加が期待されています。近々、参加登録並びにプログラム等に関するウェブサイトが開設される予定です。問合せ先: Local Organizing Committee for ISAP 2010 (e-mail: ISAP2011@nrc-cnrc.gc.ca)

7. 第5回ヨーロッパ藻類学会議

ヨーロッパ藻類学会連合 (European Union of Phycological Societies) 主催の**第5回ヨーロッパ藻類学会議 (The 5th European Phycological Congress, EPC5)** が "Exploring the Phycocosmos: A European Perspective" をテーマに2011年9月4-9日にギリシャのロードス島 (Rhodos Palace Hotel) で開催されます。詳細はウェブサイト www.epcv.gr をご覧ください。

III. カレンダー

- 2010.8.21. シンポジウム「里海一人と自然がつむぎだす豊饒の海ー」（千葉・中央区 青葉の森公園内 千葉県立中央博物館）
- 2010.10.8. 秋季藻類シンポジウム（東京・神田、学士会館）
- 2010.10.8.-12. 第9回国際海洋バイオテクノロジー会議（IMBC 2010）（中国・青島）
- 2010.10.19-20. 第3回藻類の世界アジア2010（シンガポール）
- 2010.6.19.-24. 第4回国際応用藻類学会議（ISAP-2011）（カナダ、ハリファックス）
- 2011.9.4-9. 第5回ヨーロッパ藻類学会議（ギリシャ、ロードス島）

IV. 新刊書・新製品案内

1. 野口玉雄（著）：フグはフグ毒をつくらない（ベルソブックス036）。四六判 160頁。定価1,890円（税込）。成山堂書店（2010）。
2. 環境省自然環境局（編）：生物多様性民間参画ガイドライン。A5判 188頁。定価2,100円（税込）。成山堂書店（2010）。
3. 金田禎之（著）：新編 漁業法のココが知りたい（改訂版）。A5判 168頁。定価2,310円（税込）。成山堂書店（2010）。

V. 海藻 Q & A

Q 30—ジャイアントケルプはコンブの仲間です

A—世界最大の海藻といわれるジャイアントケルプ（giant kelp）は褐藻コンブ目に属します。コンブ目の中にはコンブモドキ科、チガイソ科、ツルモ科、コンブ科、レソニア科、レソニオプシス科、ニセツルモ科などがありますが、ジャイアントケルプはレソニア科またはコンブ科に分類されます。代表的な種はマクロシスティス（またはマクロキスティス）ピリフェラ（*Macrocystis pyrifera*）ですが、このほかにマクロシスティス インテグリフォリア（*M. integrifolia*）、マクロシスティス アングスティフォリア（*M. angustifolia*）、マクロシスティス ラエビス（*M. laevis*）などが知られています。*M. pyrifera* は、日本語ではオオウキモとも呼ばれますが、胞子体は浮遊しているのではなく、水深20~30mの海底の岩などに付着根（holdfast）で着生し、細長いササの葉状の葉（blade）をつけた茎状部（stipe）が海面に向かってまっすぐに伸び、さらに成長すると先端部は海面に浮くかたちになります。葉のつけねのところに気胞（浮き）（pneumatocyst）があつて浮力を与えています。体長は60~70mに達し、密生した海中林を形成します。北米太

平洋岸ではアラスカからメキシコ北部（カリフォルニア半島）にかけて、南米太平洋岸ではペルーからホーン岬にかけて、ニュージーランド沿岸やオーストラリア南部（タスマニア）にも、また南アフリカ沿岸やインド洋南部のケルゲレン諸島沿岸にも生育しています。成長が速いこと、生産力が非常に高いことでもよく知られています。*M. integrifolia* は *M. pyrifera* より小ぶり で体長 8m くらいまで成長します。

マクロシスティスはアルギン酸の原藻として大量に採取されてきたほか、北米カリフォルニア沿岸では石油に代わるエネルギー源としてメタンガスをとるため大量に採取されてきました。また、藻体は渋みが強いのでコンブのようには食べられませんが、若い葉は少量ならば食べることができます。

これまでのQ&A

- Q1**－「海藻」と「海草」は同じですか。（No.2 に掲載） **Q2**－ノリの「色落ち」って何ですか。（No.2 に掲載） **Q3**－海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか？（No.3 に掲載） **Q4**－コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか？ 焼き海苔はなぜ緑色か？（No.3 に掲載） **Q5**－海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか？（No.3 に掲載） **Q6**－テングサという種名の海藻はないのですか？（No.4 に掲載） **Q7**－「うみぶどう」は海藻の名前ですか？（No.5 に掲載） **Q8**－「キラー海藻」って何？（No.6 に掲載） **Q9**－日本の海苔は輸出されていますか？（No.6 に掲載） **Q10**－「髪菜（はっさい）」は海藻ですか？（No.7 に掲載） **Q11**－中国で栽培（養殖）されているノリは日本のノリと同じですか？（No.8 に掲載） **Q12**－「岩のり」と「青のり」は違うものですか？（No.9 に掲載） **Q13**－「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか？（No.10 に掲載） **Q14**－「鰯浦こんぶ」はコンブですか？（No.11 に掲載） **Q15**－日本産海苔の輸出状況はどのようになっていますか？（No.12 に掲載） **Q16**－「磯焼け」って何？（No.13 に掲載） **Q17**－「寒天」と「ところてん（心太）」はどう違うのですか？（No.14 に掲載） **Q18**－「はんぱ」って何？（No.15 に掲載） **Q19**－「みずこんぶ」（水こんぶ）とは？（No.17 に掲載） **Q20**－わかめ（若布）の製品にはどのようなものがありますか？（No.18 に掲載） **Q21**－有毒な海藻はありますか？（No.19 に掲載） **Q22**－「とろろこんぶ」（商品名）はトロロコンブ（種名）からつくられますか？（No.21 に掲載） **Q23**－カワノリは淡水産ですか？（No.22 に掲載） **Q24**－「のりの佃煮」の原料海藻は何ですか？（No.23 に掲載） **Q25**－“ドゥルー祭”について教えてください。（No.24 に掲載） **Q26**－“ISA”と“ISS”について教えてください。（No.25 に掲載） **Q27**－「すいぜんじのり」ってどんなノリですか？（No.26 に掲載） **Q28**－サンゴにはどんな藻類が共生しているのですか？（No.27 に掲載） **Q29**－オイルをつくる藻類があるというのは本当ですか？（No.28 に掲載）

☆☆

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回（毎月15日付で）発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F

マリン・サイエンス株式会社 内

日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝 (arugay@mx4.ttcn.ne.jp)

☆☆